



紙と読書

人生の宿題
『名作』高瀬舟』との出会い

美濃加茂市教育委員会

学校教育課

大野裕司

中学校三年生の国語の教科書に、森鷗外の『高瀬舟』が載っています。

この本と私の出会いは、今の生徒たちより一年遅れの高校一年生のときでした。

学校帰りにたまたま立ち寄った太田の本屋さんで、たまたま目に留まった『高瀬舟』を読んでみようと気が持ち上がり求めました。そして、家路の約八キロ、遠くに見える山之上富士が赤く染まり始める夕刻、左手に持ったその本を私は、無我夢中になって読みながら自宅に向かいました。時には自転車をこぎながら、時には自転車を押しながら、立ち止まりながら読み、考えながら読み、進みました。

『高瀬舟』は、高校一年の私には衝撃的でした。弟殺しの罪を犯し、島流しになる身であるにもかかわらず、満足げな表情を見せる罪人、喜助がいぶかる役人の庄兵衛が主人公です。そして、喜助の話の聞いて『この弟殺し』は罪なのかどうか問うのです。話の核心は次のようです。

弟は不治の病です。兄の喜助にはこれ以上迷惑はかけたくなないと自らに手をかけてしまっています。しかし、傷深く、死に切れずにもがき苦しんでいる

弟と出くわした喜助は、のどに刺さった剃刀を抜いてくれと懇願する弟の思いを汲み取り、抜いたはずみで傷が深まり、結果として弟は帰らぬ人となってしまうというのです。
私は、道々、「安楽死は犯罪か」という役人の庄兵衛の問いに答えができませんでした。そして、今も出せずに私の宿題になっています。

名作と呼ばれる本がいくつもあります。一生の宿題を与えてくれたという意味で『高瀬舟』は私にとっても名作です。思えば、『ガンジー』『野口英世』といった伝記、『友情』『車輪の下』といった物語『一握の砂』などの詩集、科学的な読み物など、わたし達のまわりにはいつまでも心に残り、道しるべになったり、宿題を与えてくれたり、生きる喜びを与えてくれたりする多くの名作があります。



「国民読書年」の今年は、出会えてよかったと思われる名作との邂逅が特に多くあったに違いないと思っています。

図書館クイズ

「オオカミ王ロボ」など、多くの動物記をのこした米国の作家は誰でしょう。

1. フェーブル
2. ビアッキ
3. シートン (答えはうらに)



司書のつぶやき

市立図書館、学校図書館の司書はみんな静かなおしゃべりさん。今回よりこのコーナーでちよつと紹介します。

美濃加茂市でブックスタートが始まって一年半たちます。

ブックスタートでもらえる、ラッコのロゴマーク入りバックを持って図書館に来館される人が増えてきました。買い物に行くときに「マイバック」を持っていくように、図書館専用の「マイBOOKバック」が広まればいいなあと思う今日この頃です。
東図書館 坂本

ブックスタートとは...

赤ちゃんを抱っこして、絵本を開いてお話する。ゆっくり心ふれあう時間を、絵本を通して積み重ねていく。そんな赤ちゃんの健やかな成長を応援する活動です。
現在、全国で753の市区町村(半分近くの自治体)がおこなっています。

美濃加茂市では、平成21年4月1日生まれの赤ちゃんからで、「こんにちば赤ちゃん訪問員」さんが、二カ月前後の頃の「自宅訪問の際にブックスタートの説明をしてから、ブックスタートバック(絵本『いないいないばあ』『じゃあじゃあびりびり』『ぴよん』の中からどれか一冊+コットンバック+イラストアドバイス集+絵本リスト+図書館利用案内+館外利用申込書)を手渡しています。

読書タイム

市内の学校・園・施設の
子どもと読書をのぞいてみました

たくさん読んでね！

図書館祭り

蜂屋小学校では、六月と十一月に委員会を中心
に図書館祭りを行っていま
す。



のを、目をキラキラ輝か
せて見えています。人形劇
を見た後には、原作の本
を借りる子ども多くなりま
す。

さらに、PTA母親委員

さんや、ボランティア「ぶんぶん」さんによ
る読み聞かせも行われます。お母さん方
の優しい語り口から、あたたかい気持ち
が伝わってくる時間となっています。

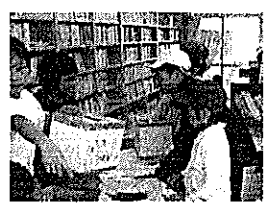
PTA母親委員会では、『ふれ本・ふれフ
アミ』の取り組みも行われます。本を介し
て、親子でふれあう時間を作っています。

図書館祭り中に限らず、常時、図書委
員お薦めの本コーナーも設置しています。
月二回くらいペースで、本の入れ替え
をしています。図書委員は、自分のお気に
入りの本を紹介するだけでなく、いろい
ろなジャンルの本を選ぶように心がけてい
ます。友達の勧める本を手取る子ども多
く、本の世界の広がりが見られます。シ
リーズ物を紹介すると、どん
どん借りていき、最新刊を心待
ちにしている子どもいます。

マイしおりというのは、自分で好きな絵
を描いたり、シールを貼ったりして作るし
おりのことです。ラミネート加工をして、
世界に一つだけのオリジナルしおりにな
ります。

このビンゴのおかげで、今まで、素通り
してきた本棚の前に行って、題名や中身
を見ながら、本を探したり、友達と情報
交換をしたりする姿がよく見られるよ
うになりました。

また、図書館祭りにお
わせて、『劇団はらぺこ』
さんの人形劇を見せてい
ただいています。子ども
達は、文字の世界が、動
きと音の世界に変わる



また、図書館祭りにお
わせて、『劇団はらぺこ』
さんの人形劇を見せてい
ただいています。子ども
達は、文字の世界が、動
きと音の世界に変わる

図書館クイズの答え 3、シートンです。
今年生誕150年にあたります。自然保護運動の先
駆者のひとりで、動物画家としても有名です。

えほん

「だいこんどのむかし」

渡辺節子作 ほるぷ出版
一五二三円



村人が大切に育てた大根は、どんどん大
きく太くなり、口がきけるようになりま
した。最初は抜いて食べようとしていた村
人も、大事にしておくことにしました。秋
や冬のつらい風からもかばってくれ、夏に
は涼しい影をつくってくれるだいこんどの。
しかし、ある日村人たちは、そんなだいこ
んどのに、でていって
れと言います。さて、だ
いこんどののは…。そのあ
との村はどうなった
のでしょうか。

物語

「ふくろうくん」

アーノルド・ローベル作
文化出版局 897円
がまくんとかえるくんでおな
じみのアーノルド・ローベルは、ユーモラス
な動物のお話をたくさん書いています。

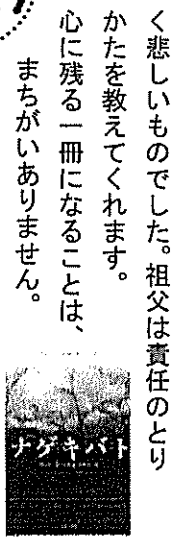


このお話の主人公ふくろうくんもとて
も面白いことを考えます。ティーポットを
涙でいっぱいにしてお茶をわかしたり、寒
い吹雪の夜、ふゆをお客さんとして家に
入れたら、いっぺんに一階と二階にいられ
る方法を考えたり、こどもをひきつける
楽しいお話ばかりです。読んだあとはな
んとなくしあわ
せな気分になる
本です。

小説

「ナゲキバト」

ラリー・バークダル作
あすなろ書房 一三六五円



九歳で両親を亡くしたほくは、ひとり
ぐらしの祖父と暮らすことになる。人は
いかに生きるべきか？やさしく、愉快に
ときには厳しく教えてくれたのは祖父
だった。忘れられないのは、ナゲキバト
を撃ってしまった日のこと。有頂天にな
ってかけよったほくが見たものはひと
く悲しいものでした。祖父は責任のとり
かたを教えてくださいました。
心に残る一冊になることは、
まちがいありません。

この本 読んでみて！

「テレビの大罪」

和田秀樹著
新潮社 七三五円

大人が

六月におこなった「美濃加茂市家
庭読書アンケート」の結果によ
ると、まったくテレビ・ゲームに
かかわらず一日を過ごす子が全
体の約一%。ほとんどの子は習慣として
テレビ・ゲームにかかわっていることが分
かりました。今までもテレビが与える影
響について書かれた著書はありますが、
この本は「丸ごと一冊、テレビについて攻
撃しつつ書いています。少々乱暴のような
気がしますが、テレビが子どもたちの生
活に浸透している昨今、テレビについて考
えさせられる一冊でし
た。

